

令和5年度第2回 旭川市民文化会館運営審議会 会議録

- 1 開催日時 令和5年11月28日(火) 18:30~19:40
- 2 開催場所 旭川市民文化会館 2階 第2会議室 (旭川市7条通9丁目)
- 3 出席者 **【委員】** 14名
浅井委員, 大島委員, 鎌田委員, 木幡委員, 小林委員, 斉川委員, 佐藤(淳一)委員,
茂田委員, 富田委員, 平間委員, 宮田委員, 目黒委員, 山口委員, 山本委員
【事務局】 6名
(社会教育部) 佐藤部長 (文化振興課) 松里文化ホール担当課長
(市民文化会館) 長岡館長, 宮崎主査, 鈴木主査, 今村主査
- 4 欠席者 **【委員】** 1名
佐藤(淳)委員
- 5 傍聴者等 0名
- 6 議 題
 - (1) 令和5年度上半期旭川市民文化会館利用状況等について
 - (2) 令和5年度自主文化事業中間報告について
 - (3) 令和6年度自主文化事業概要(案)について
 - (4) その他
- 7 資 料
令和5年度第2回旭川市民文化会館運営審議会議案書
- 8 会議録(要点) 別紙のとおり

会議録（要点）

1 開会

会長の進行により開会。

事務局から本日の出席委員数が過半数を超えており本審議会が成立していることを報告したほか、本日の審議会の会議録の公表方法の説明及び配付資料の確認を行うとともに、議題（1）の説明に関係して、令和3年度第2回旭川市民文化会館運営審議会での配付資料を再配付した。

2 社会教育部長挨拶（内容）

本日の審議会は、利用状況や自主文化事業について報告するが、委員の皆様や関係者の方々の協力もあり、文化会館の利用者数も徐々に増えている状況であること。

文化会館は、現在、建替えに向け検討を進めているところであるが、来年度、開館50周年を迎えることから、できるだけ記憶に残るイベントを開催し、街を盛り上げていきたいと考えていること。

については、引き続き、委員の皆様方に御理解・御協力をお願いしたい旨の内容。

3 委員自己紹介

第1回審議회를欠席した佐藤（淳一）副会長、木幡委員及び山本委員の3名が自己紹介し、その後、事務局に新たに着任した宮崎主査が自己紹介した。

4 議題

(1) 令和5年度上半期旭川市民文化会館利用状況等について

事務局からの資料に基づく説明後、委員からの感想等を経て、本審議会への報告を終了した。

なお、主な感想等の要点は次のとおり。

<委員>

令和元年度の利用状況の数値はすごかったと改めて思うとともに、徐々にコロナ前の状況に戻ってきていると感じる。

(2) 令和5年度自主文化事業中間報告について

事務局からの資料に基づく説明後、委員からの質疑応答等を経て、本審議会への報告を終了した。

なお、主な質疑応答等の要点は次のとおり。

<委員>

基本的なことになるが、自主文化事業の仕組みを教えてください。誰が、どのように集客しているのか。また、買取型公演とは何か。

<事務局>

まず、自主文化事業について、文化会館の条例で文化・芸術に関する企画・実施の規定があり、それを根拠としている。その企画の内容は、資料にあるとおり、参加費が有料のものと無料のものがあり、いずれも市が必要な広報を行い、有料のものは市が作成したチケットを販売し、無料のものは広報誌等で参加者を募

集している。次に買取型公演についてだが、興行団体に委託費等を支払い、特定の文化ホールで公演等を行うもので、通常、公演するホールまでの旅費や出演料等は委託費等を含み、広報や会場費、チケット作成・販売経費等は委託元が負担するものである。現在、買取型公演は、全国的にも一般的なもので、数多くの文化ホールで取り入れている。例えば、演劇を例に挙げると、台本の作成や出演者の決定、舞台稽古等、全て自分完結できるならば、買取型公演は必要にならないが、文化ホールにおける予算や人員等の関係から、難しいのが現状である。

<委員>

キーウ・クラシック・バレエを初めて見たが、かなり良かった。
チケット販売の面で何か課題や改善策はあったか。

<事務局>

鑑賞が主たる目的となるバレエ公演ということで、ホール後方等に位置するA席の売れ行きが悪く、これを改善したいと考えている。現在の案としては、最後方列等の価格をもっと安くし、あまりバレエに興味がない方でも気軽にチケットが購入できるようにし、新規顧客の開拓に繋げていきたいと考えている。

<委員>

ちょっと話題がずれるが、文化会館の建替えもあるので、車椅子の方々への配慮をお願いしたい。

<事務局>

新しい文化会館の具体的な設計はかなり先にはなるものの、ユニバーサルデザインについては、当然ながら配慮したいと考えており、建坪の問題もあるので確約はできないが、車椅子でも移動が容易な構造とした考えである。また、他の公共施設の建設時同様、車椅子の方々の関連団体だけでなく、目や耳の不自由な方々の関連団体等からも意見を聴取することとなると思う。

なお、現在の文化会館には、車椅子席が2席しかないが、大ホールのステージ前の客席は取り外し可能なため、イベント内容に応じて可能な限り対応していきたい。

(3) 令和6年度自主文化事業概要(案)について

事務局からの資料に基づく説明後、質疑応答を経て、本審議会への報告を終了した。
なお、主な質疑応答等の要点は次のとおり。

<委員>

買取型公演等事業の2つが来年度に限り11月に実施することは分かったが、その他事業の旭川市消防音楽隊避難訓練コンサートの実施時期も資料では11月中旬になっているが大丈夫か。

<事務局>

資料の作成・配付時には11月中旬を予定していたが、その後の日程調整で現在は10月下旬に変更となっている。

<委員>

来年度の開館50周年記念事業で自主文化事業以外にパネル展や記念冊子の作成等の予定はあるか。

<事務局>

予算的な問題もあり予定していない。

<委員>

文化会館の50周年を振り返ることができる資料というのは、どのくらいあるのか。

<事務局>

開館から今までの資料を保管している部屋はあるが、全てを把握できていない状況である。現在、市全体として公文書等の電子データ化を進めているので、これからのものについては、将来的に把握しやすい環境になると考える。

(4) その他

事務局から追加の議題提出はなく、議題(4)その他の審議はなかった。

5 その他

議題審議終了後、事務局から次回会議の日程等について連絡し、委員から次の事項についての要望・質問があった。

<委員>

文化会館の行事予定表やホームページの見やすさ等について。

<委員>

文化会館の夜間における施設内の照明の取扱いについて。

6 閉会